武庫の宝

令和8年　11月号

三田市立武庫小学校長　大向　勲

「言葉」のチカラ

「言葉」は、古くから「言の葉（ことのは）」とも表されてきました。人の心を糧として、そこからたくさんの言葉が葉のように生まれ、広がっていく、そんな美しい表現が平安時代に残されているそうです。最近、この「言葉」のチカラを今更ながらに強く感じています。

「ふたことあいさつ」「価値発見」この「言葉」を言い続けることで、これまでも様々な素敵なエピソードが生まれました。そのエピソードは子どもたちにそして可能な限り機会を見つけ保護者・地域の皆様にもお伝えしてきました。

今回は本日の全校集会で子どもたちに話したひとつのエピソードを紹介します。

10 月 25 日（日）フラワータウン駅周辺で「さんだとっておきの音楽祭」が開催されました。わたしは実行委員のひとりとして関わっていたのですが、その会場で以前お出会いしたことのある武庫小校区にお住まいの方に声をかけられたんです。「校長先生！武庫小学校の子どもたち、すばらしいですね！」と。お住まいのマンションのエレベーターで出会った子どもたち。エレベーターを先に降りたあと、振り返って「お先に失礼します。」ってこちらに会釈してくれたとうれしそうに話してくださったんです。感激したわたしは興奮気味に「ふたことあいさつ」の話やいくつかのエピソードを話しました。するとその方は納得したように「他にもエレベーターで『何階ですか？』と言われたこともありました！」と続けて素敵なエピソードも伝えてくれました…。



まさに「言の葉」だと思われませんか？「ふたことあいさつ」を始めて３年目。その「言」から、見守りをお世話になっている方に「雨の中ありがとうございます。」という言葉やお手紙で「いつもありがとうございます。」という「葉」が生まれ、それが今回のように広がっている…。小さな、しかし確かな「事実」です。この事実を子どもたちとそして保護者、地域の皆様と一緒に喜びたい、そう思います。プラスの、ポジティブな、幸せな事実をみんなで分かち合う。それは 24 日（土）にご覧いただきました音楽会、あの瞬間瞬間、すべての皆様と分かち合った感動も同様です！

令和８年度の武庫小学校も折り返しを過ぎました。今後ともどうか幸せの連鎖を分かち合えるようどうかご支援ご協力よろしくお願いいたします。